

第2回小説『道標』をゆくロシアの旅 8日間

富士国際旅行社

激動の時代を生きた宮本百合子の世界を巡る

旅行代金 2018年10月8日 発 398,000 円

一人部屋追加料金 39,000 円

定員 30名 (最少催行人員15名) 添乗員同行 申込み締切 8月31日(金)

日次	月日	曜	都	市	現地時刻	交通機関	摘 要	〈宿泊地〉	食事
①	10月8日	(月)	成 田	発	午前～ 昼 刻	航 空 便 専 用 車	空路、モスクワへ 着後、軽いお食事と参加者交流会	〈モスクワ泊〉	X 機 D
②	10月9日	(火)	モ ス ク ワ	終 日	終 日	専 用 車	モスクワ市内見学 ●クレムリン要塞 ◎赤の広場 ◎ウスペンスキー大聖堂など ◎「伸子」が暮らした共同住宅アストージェンカ見学 OP①:ポリショイ劇場でオペラまたはクラシックバレエ鑑賞	〈モスクワ泊〉	B L D
③	10月10日	(水)	モ ス ク ワ	終 日	終 日	徒 歩 専 用 車	モスクワ市内見学 主人公「佐々伸子」のモスクワでの生活をたどる ◎パサージュホテル跡 ◎トゥヴェルスカヤ通り ◎モスクワ芸術座 ◎エリセーエフスキー(スーパー) ◎メトロポリタンホテル ●IBBOKC (現在はゴーリキーの家博物館)	〈モスクワ泊〉	B L X
④	10月11日	(木)	モ ス ク ワ	発	午 前 午 後 夜 刻	専 用 車 列 車	モスクワ文学散歩 ●トレチャコフ美術館 ●プーシキンの家博物館 自由行動 寝台列車「赤い矢」号(1等)でサンクトペテルブルクへ	〈車中泊〉	B L X
⑤	10月12日	(金)	サンクト=ペテルブルク	終 日	終 日	専 用 車	サンクトペテルブルク市内見学 主人公「佐々伸子」ゆかりの地、ロシア革命ゆかりの地 ◎スモーリヌィ修道院 ◎グランドホテル=ヨーロッパ ◎ペトロパブロフスク要塞 ◎デカプリスト広場 ●レニングラード包囲と防衛博物館 OP②:バレエまたはオペラ鑑賞	〈サンクト=ペテルブルク泊〉	B L X
⑥	10月13日	(土)	ツァールスコエ=セロー	終 日	終 日	専 用 車	ツァールスコエ=セロー見学 ●エカテリーナ宮殿「琥珀の間」 ◎学習院 ネフスキー大通り散策	〈サンクト=ペテルブルク泊〉	B L D
⑦	10月14日	(日)	サンクト=ペテルブルク	発	午 前 午 後 ～ 夜	航 空 便	出発まで自由行動 OP③:エルミタージュ美術館見学 空路、帰国の途へ	〈機中泊〉	B X X 機
⑧	10月15日	(月)	成 田	着	午 前 ～ 夜		着後、解散		機
B=朝食付、L=昼食付、D=夕食付、機=機内食 OP=オプション・ツアー(希望者参加の小旅行、別途料金)									

ツアーの特色

- ◇モスクワ、サンクト=ペテルブルクで主人公「佐々伸子」の生活の場、ゆかりの地をたどります。
- ◇文芸評論家の柏木和子さんが同行。じっくり解説いたします。
- ◇トレチャコフ美術館やバレエなど、ロシアの芸術・文学も堪能。ロシア民謡で参加者交流も。

利用航空会社

大韓航空、アエロフロート航空、フィンランド航空 など

利用ホテル

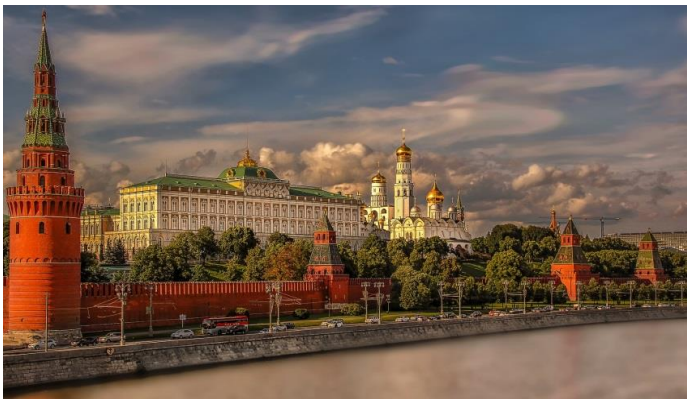
都市名	ホテル名
モスクワ	ブダペストホテル
サンクト=ペテルブルク	ホリディン モスコヴィスキ
	または同等クラスのホテル

旅行代金に含まれるもの

- 国際航空料金（エコノミークラス）
- 旅程表に明示したバス・列車・船等の料金・宿泊料金・食事料金
- 航空機による手荷物運搬料金
- 旅程表に明示した見学地のガイド料、入場料、チップ

旅行代金に含まれないもの

- 超過手荷物料金
- クリーニング代、電報・電話代、心づけ、追加飲食等の個人的性質の諸費用
- 空港施設使用料、保安料 成田 2,610 円
- お一人部屋追加料金 39,000 円
- 国内における集合・解散地までの交通費・宿泊費
- 燃油サーチャージ・空港税 約 28,000 円 (2018年4月1日現在)
- 渡航手続費用:ロシア査証(ビザ)申請費用 5,400 円
- 傷害、疾病等に関する医療費、任意の海外旅行保険料



クレムリン宮殿(モスクワ)



トレチャコフ美術館(モスクワ)



ペトロパブロフスク要塞(サンクト=ペテルブルク)



エカテリーナ宮殿(ツァールスコエ=ゼロー)